

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 5年 2月 13日

事業所名：放課後等デイサービスかのん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者同士が安全に過ごせる日もあれば状況によっては狭く感じる時もある。 ・パニックのある利用者の時にはスペースが確保されていない時がある。 ・必要なスペースはあるが、多人数や利用者の状況によっては玄関スペースを使用している。 ・静かな個室が用意されていない。 	はい20人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない1人	<ul style="list-style-type: none"> ・限られたスペースの中で安全に楽しく活動できるようにスペース確保を図っていく。またパニック等の対応のため仕切られて静かなスペースも作っていく。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎等兼務の職員配置となる時間があり、調整している。 ・利用者の状況によっては不足している感がある。(特に土曜日) ・利用者が常に視界に入るよう配置されている。 	はい14人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない8人	<ul style="list-style-type: none"> ・基準を守り、適正な人員を配置していく。 ・ボランティア等の受け入れも視野に入れていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の日程等視覚的にもわかりやすくできるよう環境整備をしている。 	はい19人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない3人	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き収納スペース、備品等わかりやすく収納していく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者降所後、毎日掃除を行い清潔さを保っている。その都度、物の配置変更が必要であれば変えている。 ・遊ぶ空間、勉強する空間分けている。 	はい10人 どちらでもない1人 いいえ10人 分からない1人	<ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心に過ごしやすい環境づくりを行い、日常の掃除等も丁寧にいき清潔に利用できるように努めていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルについては現在策定されていないが、業務終了後、もしくは翌日にカンファレンスを行い、ミーティング等で共有し意見交換しながら共通理解を図っている。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルについては、今後研修を踏まえて計画策定に取り組んでいく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価行っていない。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な第三者評価には至っていない。行政等と協議しながら第三者評価の手法など検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇時(夏休み等)毎月の研修ができない時期があるが、スタッフ研修は毎月行っている。 ・講師を招いての研修を実施している。 	/	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の機会があれば積極的に参加していく。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議や個人記録を元にモニタリングを行い、支援計画を策定している。 ・保護者へのアセスメントが十分に行われていない状況がある。 	はい20人 どちらでもない1人 いいえ	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の希望、思いなど十分理解したうえで、関係機関と連携を図りながら計画を策定していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・担当者会議や個人記録を元にモニタリングを行い、支援計画を策定している。	0人 分からない1人	・保護者の希望、思いなど十分理解したうえで、関係機関と連携を図りながら計画を策定していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載		はい20人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない1人	・保護者の希望、思いなど十分理解したうえで、関係機関と連携を図りながら計画を策定していく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援計画を元に、それぞれの利用者に合ったスタッフ間で共有しながら支援に努めている。	はい21人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない1人	:計画に基づいて、スタッフが共通理解をしながら適切な支援を行っていく。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・スタッフ間で意見を出し合いながら担当を決めプログラムを作成している。 ・行事計画書を作成し、細かな予定や職員配置をしている(季節のプログラム)		・引き続き取り組んでいく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日は限られた時間の中で、個々の計画に沿った支援を行い、時間的余裕のある土曜、長期休暇には社会体験など踏まえて工夫している。	はい21人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない2人 ・いろいろな体験活動をしていただいでいて、子どもも楽しみにしています。	・学校行事の事前体験や地域事業の連携も視野に入れていく。 ・子ども達の希望を尊重した計画、将来につながる体験活動を考えていく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動記録を振り返りながら、利用状況に合わせて季節の行事やプログラタむを作成している。 ・常に情報収集を行い新しいプログラムや活動をしている。 ・外出、クッキング、工作等利用時間に合わせて活動を考えている。		・新しい将来有効な活動プログラムを取り入れていく
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日、申し送りや会議の中で利用者の状況や様子、支援内容など情報の共有をしている。		・引き続き取り組んでいく。
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・業務終了後もしくは翌日にスタッフ間で共有している。		・引き続き取り組んでいく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・問題があるとき、モニタリング以外でもケース会議ができたらと思う。(ケース記録がない) ・日誌、連絡帳などへ確実に記録している。		・引き続き取り組んでいく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的にモニタリング会議を行い、計画の見直しを行い、保護者の承認を受けている。		・引き続き取り組んでいく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・関係者による担当者会議に出席している。 ・新たに朝来市、養父市の放課後等デイサービス連絡協議会が組織され、参加している。		・引き続き積極的に参加していく。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・児童発達支援事業所からは相談お員を通じて情報の共有ははかられている。(サポートファイル等)		・情報共有しながら適切に取り組んでいく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・可能な限り保護者を通じて行っている。 ・相談員を通じて行っている。		・必要に応じて、保護者の承認を受けたうえで必要な情報は提供していく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・事例検討会で適切なアドバイスを受けれた。 ・日程が合わず受けられなかった。		・積極的に参加していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・現在ではできていない。 ・コロナ渦で控えている。	はい8人 どちらでもない1人 いいえ1人 分からない12人	・地域理解を得て取り組んでいく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・現在ではできていない。 ・コロナ渦で控えている。	はい8人 どちらでもない1人 いいえ1人 分からない13人	・地域理解を得て取り組んでいく。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・利用者負担は契約時に、支援内容は支援計画変更時に行っている。	はい21人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない0人	・変更時には改定状況を詳細に説明していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・保護者に会って説明している。	はい21人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない1人	・引き続き丁寧に説明していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・個別相談で対応している。	はい11人 どちらでもない3人 いいえ3人 分からない5人	・保護者対応に課題を感じているため、ペアレントトレーニングについて研修を受け必要に応じて取り組んでいく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡ノートの活用、送迎時の聞き取り、情報交換を行いながら共通理解に努めている。	はい20人 どちらでもない2人 いいえ0人 分からない0人	・保護者や関係者とのコミュニケーションを図り、共通理解を深めていく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談を受けた際には助言をするなどして対応している。	はい14人 どちらでもない3人 いいえ2人 分からない3人	・それぞれの状況に合わせた相談内容に対応していけるよう関係各所と連携を取っていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者会的なものは組織されていない。イベントにより交流をしている。	はい6人 どちらでもない4人 いいえ2人 分からない10人	・イベント(茶話会等)など企画し、保護者間交流に取り組んでいく
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・その都度対応している。	はい17人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない4人	・早く丁寧に対応する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・保護者とは連絡帳や送迎時に意思疎通はできている。利用者とは言葉、文字、イラストなどで意思の疎通を図っている。	はい21人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない0人	・情報伝達、意思疎通がしやすい環境や状態を作っていく
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・個人情報に注意しながらSNSやお便りや活動を発信している。	はい13人 どちらでもない2人 いいえ0人 分からない6人	・引き続き分かりやすく発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・十分な対応ができている。	はい20人 どちらでもない0人 いいえ0人 分からない1人	引き続き注意蘇しながら取り組んでいく。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・感染症以外、各マニュアルが未策定	はい15人 どちらでもない4人 いいえ0人 分からない2人	・それぞれのマニュアルを早急に策定していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・消防計画に基づいた避難訓練は今年度はできていない。	はい6人 どちらでもない1人 いいえ0人 分からない14人	・確実に実施するように努める。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルを元に研修を行っている。		・引き続き年1回の研修実施をしていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・基本的に身体拘束は行っていない。		・必要に応じて取り組むが、現時点で身体拘束に見合う事例はないが、指針等は作成していく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者を通じて対応している。		・定期的に情報共有していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハット事例が発生した時は、日誌に記載の上、スタッフで確認している。		・ひきつづきスタッフ間で共有していく。

